

市長の施政方針表明と質疑が行われました

4月に2期目の当選を果たした金子裕市長が、6月定例会において施政方針を表明しました。これに対し、久保貴洋議員(創政クラブ)、穂原政夫議員(令和みらい)、小森隆一議員(公明党議員会)、鶴見義明議員(日本共産党議員団)、山菅直己議員(政友みらい)、長浜成仁議員(佐野市の明日をつくる会)、早川貴光議員(未来の佐野を明るくする会)(以上質疑順)の7人がそれぞれの会派の代表として質疑をしました。



▲ 金子裕市長

まちづくりの 基本理念

「進化する佐野市」 「選ばれる佐野市」

「進化する選ばれる佐野Ver.2」

6つのメニュー

- ① さいの子育て安心プラン
- ② さいの産業開拓プログラム
- ③ さいの未来創造プログラム
- ④ 防災インフラ整備強化の推進
- ⑤ シニア向けワンストッププラットホームの設置
- ⑥ 強く優しいまちの創造

Q

施政方針に対する質疑

A



穂原 政夫 議員(令和みらい)

オール佐野市で市全体の融和を図るための 具体的な取り組みについて

Q 常に市民目線を心がけ、謙虚に、現場主義を貫き、11万3千市民全ての生命と財産を守る市長として、オール佐野市で市全体の融和を図ることとあるが、具体的にどのようなことを行っていくのか伺いたい。

A 市民の皆様、市議会の皆様、そして行政が、それぞれの立場で、まちづくりの課題を主体的に捉え、課題解決に向けた行動を起こす必要があると感じています。

そこで、市民の皆様が積極的になまちづくりに参画していただき、愛着を持ってふるさと佐野市を育てていけるような環境を整えていきたいと考えています。



久保 貴洋 議員(創政クラブ)

地域家族について

Q 地域において「地域家族」の考え方により、お互い支え合い、人を育てる佐野市を創り上げることとあるが、地域家族の枠組みや仕組みについて伺いたい。

A 地域家族という考え方は、特定の地域やコミュニティを家族のように捉え、その中でお互いに助け合い、支え合うという概念であります。こうした考えの下、私は三世代の家族が一つ屋根の下、支え合うことが難しい社会情勢においては、地域を一つ屋根と捉え、地域全体で支え合う「地域家族」の構築を目指し、取り組みを進めていきます。血縁や法的関係に限らず、地理的に近接した人々が絆を深め、幅広い世代が関わり、地元を良くしようとする思いを積み重ねられる地域共生社会の仕組みを構築します。